Hot News（ホットニュース）「紀南オープンフィールド構想によるみどりのアントレプレナー共創拠点」

紀南，ミカン，いい予感♪♫

Open up the Future

かんきつ栽培で知られる紀南地域。
若者が都市部に流れてしまうことによる
人材・労働力不足などの課題の解決に、三重大学が乗り出します。
その名も「紀南オープンフィールド構想による
みどりのアントレプレナー共創拠点」プロジェクト。
主に使うのは、想像力と最先端技術。
かけ合わせると、想像できる未来のちょっと先にたどり着けるんです。

Photo by 浅田 政志

三重大学と農業

スマート技術がミカンも世界も変える

紀南地域の基幹産業は、かんきつ栽培。過酷で気まぐれな自然を相手に、労働力と経験値を駆使して発展してきましたが、人口減少が続くことによる懸念も。そこで将来、農産物の生育状況をデジタル管理して、ロボットが収穫などをする機械化を計画。農作業をオートメーションにすれば、生産者の負担や農産物のロスも軽減できます。消費者のニーズにあった作物をより効率的に生産・流通させることが可能となり、生産者や消費者のライフスタイルまでも変えられます。

現在のミカン収穫の様子。農作業には人手が欠かせない

将来は作物の管理もデジタル化
収穫も機械化して生産者の負担を減らす

FUTURE

1. 農業に活用できるロボットの開発から農地の整備など、まち全体を最適化
2. 経験に頼っていた農作物の品質管理や収穫のタイミング、さらに出荷までを自動化・機械化
3. 農業のデジタル化・機械化により、生産者の負荷が減り、ライフスタイルが変わる

気象・土壌データを解析して育てたミカン。糖度や酸度をMRゴーグルで可視化

三重大学のアントレプレナーシップ教育

地域の課題を解決に導くエキスパート養成所

インタラクティブなロボットを通して地域外の人の知恵も借りる

現在、紀南地域の課題は住んでいる人だけのものかもしれません。しかしメタバースやデジタル空間を使えば、将来、地球の裏側から紀南地域の地域課題を華麗に解決してくれるヒーローが誕生するかもしれません。地域課題の解決に乗り出し、自ら実行へと導くヒーローを育てるのが「アントレプレナーシップ教育」です。紀南地域の資源や課題の解決を通して、自分のやりたいことを実行できるアントレプレナーたち。例えば、インタラクティブなロボットを介してミカンを世界中で営業販売する行動力や知恵を育てます。

FUTURE

1. 地域課題を解決に導く知恵と実行力を持つエキスパート養成所
2. 地域課題はむしろビジネスチャンス!
   地域も経済も考える
3. デジタル空間での交流をきっかけに、紀南地域の外の人の知恵も借りる

知恵を寄せ合って地域課題に皆で頭をひねる

世界中の人にミカンを販売できるアントレプレナーが誕生

三重大学のアグリテック教育

DX農業技術の修得を通して新しい仕事の創出も目指す

かんきつ栽培に役立つ新しい農業技術を学ぶことは、未来をつくること。例えば、今まで自力で行ってきた獣害対策を、ドローンやロボットを活用したものにすることも「アグリテック教育」です。メタバース空間で獣害対策の議論を行い、広く知恵を求めることも可能。さらに、その高度な技術を自分のものにしていくのも、アグリテック教育の大事なところ。単に教えられたものを自分の技術へ。使いこなせば、そこから新たな知恵や技術が生まれます。

作物被害を出す猿を私たちの力で追い出す

獣害対策の議論はリアルからバーチャル空間へ

FUTURE

1. 新しい技術を学ぶだけでなく、使いこなせるように
2. 紀南地域だけの体験や技術もアグリテック教育
3. アグリテック教育のゴールは"自立"

将来はドローンやロボットで猿を山に追い返す

三重大学と農村社会

歴史ある紀南地域から始まる距離も時空も超えたバーチャル社会

やがて紀南地域では時空を超えた地域住民との交流も可能に

紀南地域には、平安時代、熊野までの道を参詣のために歩く人が多くいました。「紀南地域で、時空を超えて過去の人達とも交流できたら……」。三重大学はそんな未来を描いています。紀南地域を訪れると住人の方々との交流に加えて、将来はメタバース空間を活用して昔の紀南地域の人々と話すことも。さらに現地に来れなかった旅行者ともメタバース空間で会えます。MRゴーグルをかければ、現実とバーチャルが融合した新たなふれあいの形が叶います。

FUTURE

1. バーチャル空間を活用すれば新たなふれあいの場が生まれる
2. 紀南地域を訪れてもらうためにまずはバーチャルで訪問してもらう
3. リアルとバーチャルが融合すれば住民とだけでなく旅行客同士の交流も可能に

バーチャル空間では遠方にいながらにして観光ができる

20年後の紀南地域のイメージ

Photo by 浅田 政志